

郡三踊国文化財指定書交付式



国の文化審議会から国指定文化財の答申を受けていた「大村の郡三踊（寿古踊・沖田踊・黒丸踊）」に対して、指定書の交付式が東京都で行われました。式には、三踊の各保存会の代表が出席。文化財保存の長年の活動が実を結びました。

今回の無形民俗文化財の指定は全国5件で、これにより県内では6件目、大村市では初めての指定となります。

6月の「花菖蒲まつり」では、5年ぶりに三踊総出演で市民の皆さんに披露される予定です。

3/10

長年の活動が実を結びました

消化ガス発電事業の実施に関する調印式



大村浄水管理センターから発生する消化ガスを利用した発電事業を開始するため、事業者の月島機械(株)と調印しました。

この事業は、下水処理の過程で発生する消化ガスを事業者へ売却し、事業者が設置する施設で発電します。発電された電気は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し、売電します。発電量は約500世帯分で、クリーンエネルギー活用によるCO₂削減や行政コスト削減などの効果が期待されます。

公募による民設民営方式でのこの取り組みは全国初で、今秋稼働予定です。

3/14

下水道の未利用エネルギーを有効活用

福祉介護避難所の開設及び運営に関する協定締結式



市は、大村市障害者施設ネットワーク協議会に加盟する12法人と「福祉介護避難所の開設及び運営に関する協定」を締結しました。

これは、大規模な災害が発生した際に、特別な配慮を必要とする災害時要援護者を受け入れるために同法人の施設を避難所として開設していただくもので、昨年の高齢者施設に続く協定締結となりました。

締結式では、市と各法人の代表者との間で調印を行い、大規模災害時に協力し合うことを確認しました。

3/17

災害時要援護者のための避難所を

災害時における物資の供給に関する協定締結式



市と段ボール製造会社（佐賀県）との間で、「災害時における物資の供給に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害発生時に開設する避難所に、簡単に組み立てることができ、段ボール製の簡易ベッドを供給していただくもので、東日本大震災後の避難所でも多く活用されてきました。

県内では初めての協定締結で、災害時の避難所で良好な生活環境づくりに役立てられます。

3/17

避難所でも良好な生活環境を

新大村駅まちづくり委員会最終報告書提出



新大村駅（仮称）まちづくり委員会（橋本委員長）は、九州新幹線新大村駅周辺地域のまちづくりについての「最終報告書」を松本市長へ提出しました。

同委員会は、有識者や公募委員など30人で構成され、昨年6月から6回にわたって議論を重ねてきました。その内容を基に、駅前周辺ゾーンの整備イメージや、まちづくりに関する10項目の提言を盛り込み、報告書を作成しました。

市では、この報告書を基に、新幹線新大村駅周辺のまちづくり計画を策定していきます。

3/19

提言を盛り込み最終報告書を提出

桜のライトアップ点灯式



春 から初夏の大村を彩る「おおむら花まつり」が始まり、大村公園は花見客で賑わっています。今年も例年行っていたライトアップを、国内はもとより、アジア諸国で多くの実績を持つプロの照明デザイナーの設計・監修でリニューアルし、花まつりの初日に「桜のライトアップ点灯式」を行いました。ライトが点灯されると、辺りは幻想的な雰囲気になります。訪れた花見客を魅了しました。サクラから始まる「おおむら花まつり」は、初夏のハナショウブまで続きます。

3/25

リニューアルしたライトアップで幻想的に

市営黒木住宅完成見学会



自 然豊かな環境での子育てと、地域交流を目的に建設していた「市営黒木住宅」が完成し、見学会を行いました。この市営住宅は、3LDKの木造平屋の1戸建てで、小学校にほど近い場所に4戸を建設。黒木小学校に通うことができるお子さんがいる世帯を対象に募集を行い、4月から入居を開始しています。見学会には地域住民の皆さんなども参加され、完成した設備を見学。地域の皆さんは、新しい出会いを心待ちにしています。

3/27

自然に囲まれた市営住宅が完成

大村市中小企業振興会議



有 識者や経済・金融団体など22人で組織する「中小企業振興会議」を設置し、松本市長が委員の皆さんに委嘱状を交付しました。この組織は、中小企業の振興、発展を目指して、昨年、県内では初めて制定した「大村市中小企業振興基本条例」に基づき設置したものです。第1回目の会議では、市内の中小企業の現状や現在の商工振興策を説明し、意見交換を行いました。今後、中小企業の現状や課題を検証し、具体的な施策を提案するため協議していきます。

3/27

中小企業の振興、発展を目指して

古賀島スポーツ広場完成式



古 賀島町に建設していた「古賀島スポーツ広場」の完成式を開催しました。この広場は、防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を受けて、平成23年3月から建設を進めていたもので、観覧席のあるサッカー場や予約が無ければ無料開放する多目的広場、ウォーキングに使用できる園路などを整備しました。完成式には、関係競技団体の皆さんなどに参加いただき、子どもたちが始球式を行った後、V・フーレン長崎によるサッカー教室が行われました。

3/29

人工芝のサッカー場をお披露目

放虎原こども園開園式



放 虎原こども園は、現在地にあった放虎原幼稚園と中央保育所を統合し、公立としては県内で初めての幼保連携型の認定こども園です。幼稚園と保育園それぞれの機能を併せ持つ施設で、0～5歳児の約170人が入園しました。開園式には、園児や保護者など約100人が参加。テープカットやくす玉割りで行った後、園児たちが新しい園歌を元気に披露しました。

4/12

県内初の公立認定こども園がスタート